SHINONSEN GIKAI NEWS

しんおんせん議会だより

No.85
2026
11.12

目　次

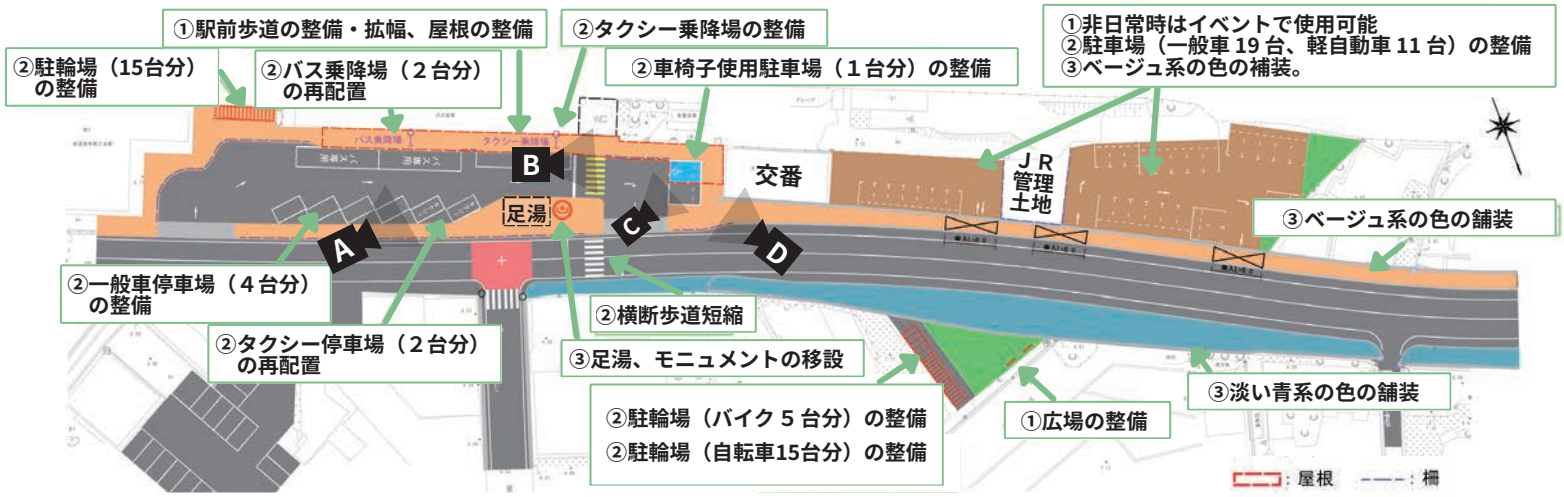
ピックアップ …… 2
決算特別委員会 …… 3
議案審議 …… 7
常任委員会 …… 9
一般質問 …… 13
みんなの広場 …… 20

注目
① 浜坂駅周辺整備事業(P9)
② 廻船問屋千原屋道盛邸整備事業(P11)



現在：駅舎から商店街


A




B




現在：足湯



現在：バス乗降場


C


D

生まれ変わる交通拠点　令和10年度整備完了予定の駅前パース図と整備イメージ図
（令和８年９月常任委員会資料から引用）

PICK UP
今定例会の注目事業

ユートピア浜坂のゆくえ

高齢者生きがい施設運営費

【事業費】 令和７年度　収入約 1,529 万円、支出約 6,142 万円

【事業概要】 高齢者生きがい施設（通称ユートピア浜坂）は平成元年（1989 年）に開業し築 37 年。これまで福祉課所管の福祉施設であるため、積極的な集客施策はしない姿勢を貫いてきた。令和７年度の赤字は約 4,500 万円。

Q 福祉施策としてこの赤字幅は妥当と考えるか。

A 人件費・燃料費・修繕費の増が主因。抜本的な赤字解消策には至っていないが、公衆浴場機能の維持を中心に考えている。

Q 他の入浴施設と同様に観光関連に所管を移す考えはないか。

A 令和７年度実績で町内利用 77%・町外利用 23%、所管のあり方は引き続き検討課題とする。



進む老朽化と高騰する維持管理費

物価高騰に苦しむ町民に寄り添えず

事業者賃上げ応援奨励金事業

【事業費】約 4,075 万円

【事業概要】重点支援地方交付金を活用し、最低賃金引上げに応じ、賃上げをした町内事業者に従業員１人あたり２万５千円を給付する。商工会からの要望に応じ実施されたが、予算 4,075 万円に対し申請は 18 件 370 万円の給付に留まり、要綱の改正が必要となった。



同じく重点支援地方交付金を活用した生活応援クーポン券は１万 5,000 円の給付となった

浜坂駅周辺、どう変わる？

浜坂駅前周辺整備事業

【事業費】8,000 万円（令和８年度分）

【事業概要】ＪＲ浜坂駅周辺を安全で利用しやすく、町の玄関口にふさわしい空間に再整備する。令和９年度に第１期工事（西側駐車場を含む広場整備）、10 年度に第２期工事（駅前区域整備）を実施する。

Q 駅前の一般車停車場４台分は一時的な送迎用か。

A 送迎等の短時間利用を想定しており、長時間は西側の 30 台分駐車場を利用。

Q 駐車場の管理主体はどうするか。

A 管理主体や防犯カメラ等の運営は今後庁内で協議・決定する。

９月定例会のあらまし

第149回定例会を９月２日から９月29日までの28日間の会期で開催しました。最初の３日間は12名の議員による一般質問を行いました。町長提出案件は、報告２件、条例案３件、事件案１件、人事案15件、補正予算案６件、決算認定10件の計37件及び請願１件、意見書２件を審議しました。当局提出議案をすべて可決・認定しました。また、請願、意見書とも可決しました。

決算特別委員会

政策の効果をチェック!!

決算認定は、決算から施策の成果を点検し、今後に反映すべく議論するものです。議長を除く13名で決算特別委員会を組織し、慣例で副議長が委員長となり、一般会計、特別会計、企業会計等10会計を審査しました。多くの議論がありましたが、主なものを抜粋してご紹介します。

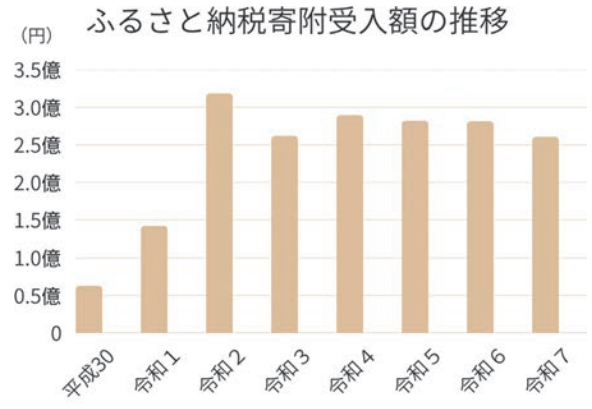
合併後最高額

歳出決算額約142億800万は合併後最高の予算規模。浜坂ライスセンター改修（産地競争力強化総合対策事業に伴う補助費等増）、浜坂中学校体育館空調整備事業等の普通建設事業費増。物価高騰対応の重点支援地方創生臨時交付金活用事業は令和５年度約４億1,100万円→令和６年度約２億5,000万円→令和７年度約１億4,000万円（定額減税不足額給付金、プレミアム商品券事業等）と縮小傾向。

目標額に達成できないふるさと納税

Q **ふるさとづくり推進費の返礼品代が当初予算約5,800万円に対し決算約2,400万円となった理由は何か。**

A 返礼品代等は寄附額に応じ変動する経費であり、寄附目標額４億円に対し実績２億６千万円にとどまったため圧縮となった。



※金額に災害支援代理寄付は含みません

さとふるに業務委託していたが、令和６年度から一部を課内（ふるさと納税推進係）で直接運用している。７年度は前年度比約2,200万円の減、８年９月時点で対前年同期比4,000万円減の実績状況。現在、一部事務を外部委託に移行しつつある

注目 ユートピア浜坂のあり方

Q **高齢者生きがい施設（以下ユートピア）は運営費約6,142万円に対し歳入約1,529万円に留まっている。安全面・サービス品質を犠牲にせず入館者増・収入増を図る観点から、広報・情報発信の現状と今後の方針を伺いたい。**

A 抜本的な赤字解消策には至っていないが、公衆浴場機能の維持を中心に考えている。

Q **ユートピア（福祉課所管）とゆ～らく館・松の湯（商工観光課所管）との機能的な違いは何か。**

A ユートピアは高齢者生きがい施設という名前だが高齢者専用施設ではなく町民全体・観光拠点としての位置づけであり、松の湯も含め町の温泉地としての重要な施設と考えている。

Q **松の湯が老朽化しているが今後のあり方はどう考えているか。**

A ユートピアと近い位置にあることを踏まえたうえで維持管理をいつまでするのか、直営で続けるのかなどの方向性を出していきたい。



築37年経過し、今後の運営を再検討するタイミングではないか

浜坂病院・老健ささゆり

経営改善に向けた支援の仕組み

令和７年度は公立浜坂病院と老健ささゆりへ経営改善として各 9,000 万円を支出した。

Q 繰出金（負担金・補助金・出資金）の算定の基本的な考え方は。

A 総務省通知に基づく基準内繰出と基準外（経営改善）の区分があり、事業ごとに算定根拠がある。

老健ささゆりの稼働率向上

Q 短期入所について、金曜の新規入所不可と土日入所不可の運用を見直して稼働率を上げれば、経営改善につながるのではないか。

A 短期入所は次の利用者との調整が難しい面があり空きベッドを作らないよう調整をし、稼働率向上に努めている。

訪問看護への住民理解の促進

Q 訪問看護・在宅医療は病院単体でなく町全体で重要になる分野であり、住民理解の促進・PR に取り組むべきではないか。

A 近隣医療機関やケアマネージャー等との連携を深め、住民への周知と理解促進に努めたい。

外国人実習生に就職奨励金？

町内企業への就職者数を増やし、若者の定住促進を図るため、町内企業就職した方（満 40 歳未満）に交付金を令和２年度から給付している。

Q ふるさと就職奨励・定住促進交付金の、実績 16 名のうち外国人技能実習生は含まれるか。

A 令和７年度から外国人の在留資格上５年以上の就業・定住が可能な者に限り、８名に交付実績がある。技能実習生でも在留期間上限のある業種の者は対象外。

Q 外国人技能実習生への交付について、５年以上の定住意思の誓約と実習制度上の在留期間上限（最長５年、帰国前提）との整合性が疑問。実際に５年以上在留したかの確認方法は。

A 対象は在留に上限のない事業所の就業者に限定して運用しており、漁業実習生等は対象外としている。実態の把握には限界があるが、判明した場合は事業所を通じ返還を求める。

世界農業遺産認定で視察増加

令和５年７月に「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」が世界農業遺産に認定された。

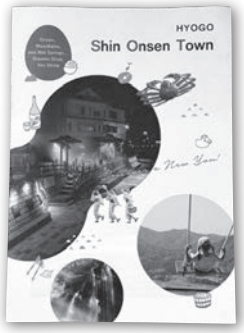
Q 但馬農業遺産推進協議会負担金 200 万円について、事業実績と費用対効果（認知度、観光客増、売上等）の評価は。

A イタリア・ローマでの世界農業遺産認定証授与式、東京での記念式典への参加、８月の夢ホールでのシンポジウム等（２日間）開催等の実績。定量的効果は把握していないが、視察・出前講座依頼件数は増加している。

インバウンド需要などの掘り起こし

Q インバウンド向け総合パンフレット（約 50 万円）の内容は何か。

A 万博兵庫県ブース向けに英語版を作成した。デジタル版は未作成である。



日本語の既存パンフレットを英語翻訳した仕様

Q インバウンド向けファムトリップ（招待型の視察旅行）事務委託（約 192 万円）の目的、招へい者の属性、実績は。

A 台湾の旅行会社、航空会社、国内旅行事業者等を招へいし、宿泊事業者７社との商談会を実施した。



ファムトリップ事業で招待したユーチューバー ZAKI さんの動画。１時間 18 分の動画のうち新温泉町内の紹介は 21 分間。
動画タイトル「【温泉天国】神戸に行かない！１泊２日で巡る兵庫県が楽しすぎた！」

鳥獣処理施設委託料増加の要因

鳥獣処理施設は塩山にあり、有害鳥獣として捕獲されたシカの解体処理・加工を行う。令和７年度より捕獲したシカを一時保管するための冷凍庫をストックポイントとして指杭に整備した。

Q 鳥獣処理施設の運営委託料が前年度比倍増した理由は。

A 鳥獣処理施設は令和７年度から指定管理者へ移行し、ストックポイント運営の追加、残さ処分費の一体計上、清掃頻度向上による処理水量増加等が要因。雇用は待遇面で折り合わず町外従業員中心となったが、指定管理者はペットフード、ジビエ商品化等など自主事業にも取り組んでいる。

Q 旧委託先と現指定管理者を比較し、どちらが有利と判断しているか。

A 単純な経費比較では言い切れないが、自主事業による特産品開発等の展開可能性を含め、指定管理事業内での収益向上が指定管理料の減少につながる仕組みであり、今後に期待している。

消防団の組織改編を協議中

Q 消防団員数減少への対策はどうするか。また消防団の出動報酬の延べ人数減少（2,088 人 → 1,655 人）の要因は何か。

A 団員アンケートを踏まえ組織改編・定数見直し等を協議中である。令和８年度中にヒアリングを開始する。出動報酬は、１回あたり４時間未満 4,000 円、４時間以上で 8,000 円である。行方不明者捜索等の件数差が延べ人数の増減要因であり、定例行事の出席率低下ではない。

小学校空調整備は次期予算編成で

浜坂中学校体育館に空調機器を新設した。令和９年度に夢が丘中学校への設置を予定している。

Q 浜坂中学校へ設置した空調機器について、冬季の実用性などの検証状況はどうか。

A 冬場はまだ使用してない。卒業式で使ったが風が出ない空調でとても静かだった。

Q 小学校への空調機器設置予定は。

A 次期予算編成で検討していく。

レコード屋大賞

Q 事業初年度だったが、コンテンツの魅力に比べて残念な実績だった。委託内容、実績はどうか。

A ラジオ関西へ委託したが、公開収録にかかる機材運搬、会場設営費が支出の中心だった。SNS 投稿 10 件未満に留まった反省を令和８年度に反映したい。



湯村温泉で公開収録されたが、効果的ではなかった。今年度は課内で SNS 運用しているが、全く運用できていない。

保護者負担を考慮し組織を集約

学校・家庭・地域・行政が連携し、青少年の健全育成や見守り活動に取り組む新温泉町青少年育成推進協議会（以下青推協）に 154 万円の交付金があった。

Q 青推協の設置根拠、事務局、事業内容は何か。

A 法定外の任意団体で事務局は生涯教育課である。昨年度は役員会、地域部会、学校園部会の活動費、青少年町民大会、教育講演会に充当した。

Q コミスク等新しい組織が出来ている。全体を見渡して組織が多すぎる。会議が増え保護者の負担が大きくなっているのではないか。

A 集約出来ないか検討していく。

※コミスク（コミュニティースクール）
学校運営協議会を設置し、地域住民や保護者が学校運営に参画する仕組み

高齢者大学の統合を検討

高齢者大学（宇都野学園・とちのみ学園）では、高齢者が新しい趣味や教養を深め、仲間づくりや社会参加を行うための講座や交流事業を実施している。

Q 両学園生徒数は。

A 両学園とも令和６年度 97 名から７年度 92 名と５名減少した。

Q 本町の規模で２学園も運営していることは珍しいが、両学園の統合検討状況はどうか。

A 以前、役員会で相談したが距離の問題もあり現状のままとなっている。令和８年度秋に遠足を合同開催に向けて協議している。今後も検討を進めていく。

初めて移住に結びついた体験住宅

Q **移住への結びつきはあるのか。**

A 令和７年度は４組の実績があり、利用者のうち１組が利用後に町内に移住。運営開始後、初めての移住である。



湯村温泉にあるいなか暮らし体験住宅。平成 29 年から運用を開始し、これまで利用はあったものの移住に結びつく実績がなかった

観光事業の費用対効果見直し

Q **費用対効果を検証できない負担金・事業があるが、総点検・見直しはするのか。**

A 総合計画の策定作業の中で点検評価や KPI 設定について庁内本部会議・政策事業ヒアリング等で議論し検討していく。

Q **負担金を支出する団体にも KPI を求めるべきではないか。**

A KPI 設定を含め負担金の点検を行う。

Q **現地へ赴く誘客施策からインターネット広告・インフルエンサー招へい等への予算配分の転換すべきではないか。**

A 時代に即したネット戦略への転換の必要性を認識している。

※ KPI　業績を数値で評価する指標

経営収支比率の評価

Q **経常収支比率が 80% 台から 91.5% まで上昇している状況だが、どう考えているか。**

A 一般財源の余裕が減少している状況であり、特定財源の確保・選択と集中・行財政改革・スクラップアンドビルドにより比率の上昇を抑えたい。

※経常収支比率
人件費や公債費などの固定費に税収などの一般財源がどれだけ圧迫されているか示す指標。毎年度の全国平均値を下回れば目標達成と本町は評価している。

ＡＩ活用で事業の見直し

Q **時間外労働・人件費と事業効果の関係、タイムパフォーマンスを意識した事業の作り直し、AI 活用の検討状況はどうか。**

A 組織・事業のあり方を見直す必要がある。AI は重要なツール。法制度上のボトルネックがある業務以外で検討していく。

調達は価格重視か地元業者優先か

Q **行政の物品調達・工事等は、価格重視か地元業者優先かの基本方針はあるか。**

A 地域内循環の観点から地元優先を基本としつつ、コスト競争との両立が課題である。

Q **下請けも含めた地元業者の活用状況はどうか。**

A 入札は、地元業者を第一に行っている。下請けの地元活用は今後どこまで働きかけられるか検討し、町内業者の持続的な育成に努めたい。

討論

反対討論　河越　忠志 議員

ムラ・無駄の多い決算

①リフレッシュ館プール棟改築事業は、施設全体の将来を見据えた事業になっていない。②温泉高校施設解体は管理不十分、成り行き任せの結果であり、大損失。③賃上げ事業者応援事業は個人的要請に基づく町民ないがしろ事業だ。以上は氷山の一角であり、容認できない。

暗号資産、税率一律 20%へ

町税条例の一部を改正する条例

概要 国の地方税法の一部改正の法律に伴い町税条例の一部改正を行う。特定暗号資産取引に係る課税の分離税化、扶養家族等申告書の提出特例の簡略化、等他４項目。

Q ふるさと納税の特例控除に上限額が設定されることで、本町に入る寄附金及び本町から出る控除額への影響はどう考えているか。

A 現時点で 193 万円の限度額を超える課税者は町内にいないと記憶しており、現行制度上は影響がないと見込んでいる。

討論

反対討論　谷口　功 議員

東日本大震災復興財源削るな

東日本大震災の復興財源「復興特別所得税（2.1％）」を１％引き下げ、それを防衛特別所得税として期間の定めもなく導入する。復興特別所得税は、減収となるため課税期間を 10 年間延長する。また、これまで暗号資産（仮想通貨）を総合課税から一律 20%の分離課税で大幅減税とする改悪であり反対する。

採決結果　賛成多数で可決

印鑑登録、新在留カード対応

町印鑑条例の一部を改正する条例

国の出入国管理及び難民認定法等の一部改正に伴う改正条例

Q 実際に在留カードを持つ在留者は町内に何名ぐらいいるか。

A 外国人は 200 名程度。特別永住者証を持つ方は 10 名程度である。

Q 改正は希望者の申請によるものであり、申請しなければ現状のままでよいとの認識で良いか。

A その通り。申請しなければ現在のまま変わらない。

討論

反対討論　谷口　功 議員

外国人排除改めよ

「外国人材の受け入れ・共生のための総合的対応策」の方針を、高市政権は「管理と排除」の方針に変え、外国籍の方が事業をする際の資本金５～６百万円を３千万円以上にすることや在留資格更新手数料を現行１万円を 10 万円に引き上げ、永住資格は上限 30 万円にするなど排除姿勢の改悪のため反対する。

採決結果　賛成多数で可決

町リサイクルセンター条例の廃止

久谷地内にあるリサイクルセンターは供用開始から 25 年経過し修繕費等経費増大になり毎年約 2,000 万円のマイナス。同センターを閉鎖しクリーンパーク北但に一本化する。令和９年４月１日から施行。

Q 閉鎖後の施設等はどうなるか。

A 機械は払い下げも含め処分する。建物は地権者である久谷区が利用したいとのことなので解体はしない。

Q クリーンパーク北但への搬入で、町の負担金はどの程度増額するか。

A 現在の負担額が約 5,000 万円で、約 250 万円の増加見込みである

討論

反対討論　谷口　功 議員

新たな住民負担押し付けやめよ

ごみ処理は地方自治体の最優先課題に位置付けられている。一般廃棄物処理原則第一はゴミの発生抑制、リデュース、リユース、リサイクル、焼却は最後の最後の考え方が基本とされている。リサイクルセンターは重要な役割を果たしている。廃止は住民に新たな負担を課すことになり反対する。

採決結果　賛成多数で原案可決

農業委員会委員の任命同意

農業委員の任期が令和８年 10 月 22 日に任期満了となるため新たな 11 名の委員の任命に議会の同意が必要である。任期は３年間。

請願

2027 年度政府予算に係る地方財政の充実・強化に関する意見書採択の請願

物価高騰や賃上げに見合う人件費を含む一般財源総額の確保、社会保障費の拡充、地方交付税の法定率引き上げや段階補正の拡充、地方創生推進費１兆円の恒久財源化、自治体 DX やシステム標準化への財政支援、地域公共交通・公立病院への支援、労務費の価格転嫁など、12 項目の実現を求めるもの。請願者は自治労新温泉町職員労働組合。

採決結果　全会一致で可決

意見書

非核三原則の堅持を求める意見書

国に対して、非核三原則（持たず、作らず、持ち込ませず）の堅持を求める。被爆国としての使命や、同町の恒久平和の町宣言（平成18年）を踏まえ、国際情勢が不透明さを増す中でも原則を維持するよう、衆参両院議長や総理大臣等に意見書を提出する。

採決結果　賛成多数で可決

令和８年度　９月補正予算

（単位：千円）

会計名			補正額	補正後予算額
一般会計			34,849	13,641,461
特別会計	国民健康保険事業	事業勘定	9,118	1,697,918
	後期高齢者医療		18,052	320,097
	介護保険事業		43,132	2,047,341
	浜坂地区残土処分場事業		57,914	801,780
	七釜温泉配湯事業		4,200	16,365

令和８年　第149回新温泉町議会定例会の議決結果

今定例会では、**39議案中25議案を全員賛成で可決**しました。賛否が分かれた議案等は以下の表のとおりです。

議案名＼議員名	1 中村茂	2 寺谷英一	3 松岡佑子	4 岡明彦	5 田村綱正	6 岡坂遼太	7 澤田俊之	8 森田善幸	9 浜田直子	10 河越忠志	11 中井次郎	12 谷口功	13 小林俊之	14 池田宜広	賛成	反対	結果
新温泉町税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	11	2	原案可決
新温泉町印鑑条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	11	2	原案可決
新温泉町リサイクルセンター条例の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	-	11	2	原案可決
町道釜屋海岸線釜屋橋迂回路整備工事（その１）請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	-	12	1	原案可決
固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	無記名投票													-	11	2	原案同意
固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	無記名投票													-	11	2	原案同意
固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	無記名投票													-	11	2	原案同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票													-	10	3	原案同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票													-	11	2	原案同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票													-	12	1	原案同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票													-	8	5	原案同意
農業委員会委員の任命同意について	無記名投票													-	11	2	原案同意
令和７年度新温泉町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	欠	○	-	11	1	原案認定
非核三原則の堅持を求める意見書の提出について	○	○	○	×	○	退	○	×	○	○	○	欠	×	-	8	3	原案可決

○…賛成　×…反対　欠…欠席　退…退席

議長は採決に加わりませんので、「－」で表示しています。
賛成と反対が同数の場合は、議長が決します。

議案一覧は町のホームページに掲載しております。

総務産建常任委員会

建設課

注目 浜坂駅周辺整備のイメージ図公開

整備計画を取りまとめた（パース図や整備イメージ図は表紙に掲載）。9月25日から10月23日までの、パブリックコメントを実施し、その後最終計画を取りまとめる。
令和９年度に第１期工事（西側駐車場を含む広場整備）、10年度に第２期工事（駅前区域整備）を実施する。
コンセプトは、
①過ごしやすい、ゆとりある駅前広場
②人・場所をつなぐ、便利で安全な交通拠点
③浜坂の風景を身近に感じる駅前空間
駅西側駐車場は一般車19台・軽自動車11台の計30台及び広場の整備。駅前区域はバス乗降場（２台）、一般車及びタクシー乗降場（２台分）、一般車停車場（４台）、駐輪場（自転車30台・バイク５台）、車椅子使用者用駐車場（１台）。
JR駅構内の既存トイレ・待合室は整備時期未定だが、駅舎内において町の全額負担で改修する予定（駅前整備事業と異なる事業）。

設備・機能

Q 足湯・モニュメントは現在のものを単純に移設するのか。

A 現段階では現在の足湯・モニュメントをそのまま移設する計画である。

Q 足湯をこの場所に移設すると、駅から見たまち歩き案内所や商店街看板が見づらくなる。又、モニュメントは観光に資するものを検討すべきではないか。

A 看板が一部隠れる可能性はやむを得ないと考えている。看板が老朽化している点も踏まえて今後の扱いを所管課と協議する。モニュメントは再協議の余地がある。

Q 駅舎屋根の下はバスの待合スペースになっている現状だが、座れるように確保されるか。

A 詳細設計の段階で調整を行う。

Q バス専用スペースは路線バスの他に、旅館等の送迎マイクロバスにも使用できるか。

A バス専用スペースは高速バス・路線バス用を想定しており、旅館等の送迎はタクシー乗降場を利用してもらう想定である。タクシー乗降場は一般車も利用可能である。

管理

Q 駐車場の管理主体は誰か。駅西側商店街駐車場の存廃の整理はできているか。

A 管理主体は未定で、今後庁内で協議する。なお、駅前に今あるカメラ式精算機は撤去予定である。

Q 各年度の事業について駐車場等の供用開始はいつ頃か。

A 未定である。



長い横断歩道等で安全に利用できない現在の駅前。整備によって使いやすく魅力的な拠点となることが望まれる

商工観光課（一部総務課）

注目 事業者賃上げ応援事業の要綱改正

執行率が10%程度に留まるため改正する。事業に申請されない大きな原因は、当初設定していた賃上げの対象期間は多くの企業における賃上げ時期と重ならないこと。改正内容は、①対象期間を令和７年８月４日から「４月１日以降」に拡大、②段階別の給付上限（人数区分ごとの上限）を撤廃してシームレスな給付、③申請期間を令和８年９月30日から「12月31日」まで延長。

執行額と財源

Q 改正により執行率は上がるか。現時点の申請事業者数はいくらか。

A 50%程度（約2,000万円）までの到達を見込んでいる。８月末時点で、18件、約370万円。１人のみから30人規模の申請まで幅がある。

Q 国の重点支援地方交付金を活用している事業だが、使いきれなかった場合は返還となるのか。

A （総務課） 最低2,000万円程度の実績を見込んで予算措置したものであり、達しなければ差額を返納することとなる。

制度の不完全性

Q **定期昇給は事業目的に反するため、対象期間を最低賃金改定目安の公表日（昨年８月４日）としたはずだが、４月１日にさかのぼればこれに矛盾するのではないか。**

A そう解釈せざるを得ない面はあるが、既存の要綱でも定期昇給分も給付対象となっており、交付金を最大限効果的に執行するための改正である。

Q **家族経営など賃上げしたくてもできない事業者の支援は検討しないのか。**

A 雇用保険未加入者は対象外としている。他事業の要項も参考にラインを引かざるを得ない面はあるが、今後の課題として受け止めている。

Q **「段階式」の不公平さは議会でも指摘があった。執行率にかかわらず見直すべきだったのではないか。**

A 委員会で一度認められたので、委員会を尊重した。

Q **法制執務上、要綱を安易に遡及改正することは本来好ましくないのではないか。**

A 対象者に不利益が生じる遡及は認められないが、利益となる場合の遡及は手続上あり得る。

制度実施に至った経緯

Q **商工会からの要望で実施した事業だが、事前のコミュニケーション不足ではないか。**

A 要望時点では今の状況について想定できていなかったとのことだ。アンケートによって実態が判明した。

Q **商工会からのこの手の要望は初めてか。**

A 賃上げ応援は、昨年末が初めての要望だ。

農林水産課

ツキノワグマ対応想定訓練

浜坂中学校敷地内にクマが侵入した想定で実践的訓練を実施した。関係機関の意見を集約し緊急銃猟マニュアルを見直す。

Q **麻酔銃対応可能な事業者は神戸市内にあり、参集に３時間程度かかるとのことだが、短縮する手立てはないか。**

A 麻酔銃による処置が可能な事業者は現状１社のみ。対応事業所の拠点を但馬地域内に置くこと等を関係市町と連携し県に要望している。

Q **隣接する鳥取県側の協力の可能性はないか。**

A 県境を越えた問い合わせは十分にできていない。今後可能かどうか確認したい。

民生教育常任委員会

町民安全課

トイレカー熊本地震被災地へ

概要 兵庫県からの要請に基づき、兵庫県が支援している熊本県宇城市へトイレカーを派遣した。

Q **派遣期間等は兵庫県から一定の方針が示されたものか、それとも町独自に検討したものか。**

A 派遣期間は兵庫県からの指示によるもの。

Q **現地での設置時間等は決められていたのか。**

A 現地の兵庫県担当職員と施設担当者が調整しながら活動時間を決めていた。



今年２月に導入されたトイレカー。熊本地震被災地の宇城市で活躍

公立浜坂病院

浜坂病院入院患者増加の要因

公立浜坂病院の利用状況及び経営状況について。

Q **病院の入院患者数 13.5% 増、居宅介護サービス約 11% 増、訪問看護実人数約 10% 増と、いずれも大きな伸びだが要因は把握しているのか。**

A 明確な要因分析は難しいが、地域連携室を中心に近隣医療機関等との連携を強化し、他院からの紹介患者の受け入れを推進した成果と見ている。居宅介護支援は、病院から自宅への退院患者が例年より多かったことでケアプランの作成件数が増えたと考えている。

Q **逆に減少している項目（外来 2.5% 減等）もある。人口減少下では想定内であり、体制のあり方も検討する必要があるのではないのか。**

A 体制について、直ちに見直す状況ではないが、看護師等の確保が課題となる中、当面は現在の体制を維持しつつ、今後のあり方を検討していく。

Q **病床利用率 78.5% はかなり高い理想的な水準と捉えてよいのか。**

A 緊急受入用ベッドの確保や看取り入院等への配慮から、常に満床での運用は困難であり、8割に近い利用率は高い水準であると考えている。

Q **訪問看護も増えている中、地域包括ケア病床の利用率がうまくいっているのではないのか。**

A 地域包括ケア病床の入院患者数は昨年度の1,696人に対し、今年度は1,747人と約3%増加しており、順調に推移していると考えている。

Q **人件費、材料費の上昇で経営が圧迫される中、診療報酬が国により定められ自由に値上げできない状況で、今後の経営改善についてどう考えているのか。**

A 文書料や室料など独自に料金の見直しができる項目もあるが、収益の根幹である診療報酬は公定価格であり、厳しい経営環境が続く中、経営強化プランに基づき経営改善に取り組んでいる。

こども教育課

これからの教育環境はどうなるのか

令和7年度「新温泉町学校のあり方検討委員会」（12人で組織）を設置。本年度から2年間「新温泉町望ましい教育環境整備検討委員会」（24人で組織）を設置し、児童生徒、保護者、教職員、住民（3,000人）へアンケートを実施した。

Q **アンケートは教育振興基本計画策定委員会が実施することになったのか、それとも望ましい教育環境整備検討委員会の活用が主なのか。**

A 両方に活用する位置づけで教育委員会として実施した。

Q **浜坂認定こども園の整備は早くて4～5年、遅ければさらに先になるのではないのか。**

A 浜坂園については昨年度、今後の整備方針を委員会で示しており、2年間の検討を経て整備方策がまとまった後に整備等を進める方針である。

生涯教育課

注目 廻船問屋千原屋道盛邸

日本遺産「北前船寄港地・船主集落」の拠点施設として整備する。所有者の寄附申出から始まり、現地調査・計画策定・委員会設置・文化財登録申請など段階的に整備が進められてきた。建物は地域の歴史を象徴する文化財であり、今後も保存と活用が進められる予定となっている。

今年度予算の概要については、議会だより第83号p4,5をご参照ください。

整備経過（主な流れ）

- **令和元年** 道盛氏より新温泉町に寄附申出
- **令和2年** 諸寄活性化構想計画が策定
- **令和5年** 家屋調査実施
- **令和6年** 家屋調査概要を委員会に報告
  県教育委員会の現地調査
  諸寄区に指定管理受入の打診
- **令和7年** 整備検討委員会設置
- **令和8年1月** 国の登録有形文化財申請提出
- **令和8年4月** 整備基本計画等委託業務プロポーザル公募開始。現地説明会・審査会を開催
- **令和8年7月** 国の登録有形文化財に答申決定
- **令和8年9月** 整備基本計画パブリックコメント募集

建物の特徴

道盛邸は、廻船問屋として地域の歴史的景観を構成する重要な建物。主屋は大正～昭和初期の建築で、木造・瓦葺き・土蔵造りなど伝統的な工法が用いられている。敷地内には主屋のほか、蔵や塀、門などがあり、歴史的な屋敷構えを残している。

文化財としての価値

本町で2例目として国の登録有形文化財に答申され、地域の歴史・文化を伝える貴重な建造物。今後は保存・活用を進め、地域活性化や観光資源としての役割が期待されている。

整備の方針

主屋が文化財活用の中心となり、新しいふれあいと憩いの風景をつくる。それぞれの建物をひとつながりの「廻船ルーフ」がつなぎ、庭がそれらを結ぶ場所となる。これらにより、地域住民と観光客が自然に交わる文化拠点を形成する。

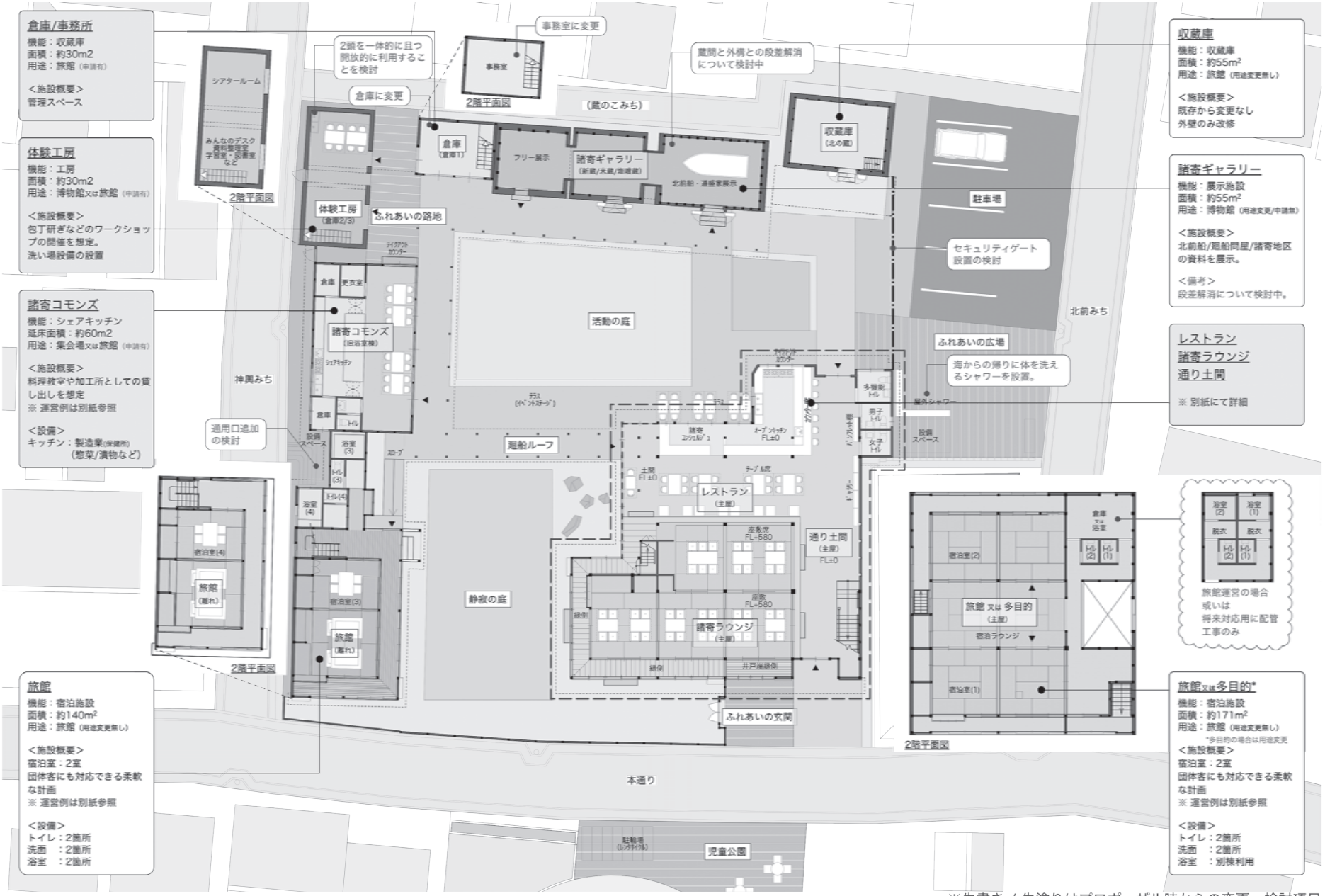


様々な機能を持つが有効に活用されるか疑問が残る（プロポーザル資料から抜粋）



周辺は車がすれ違うことがしづらい細い路地

道盛邸整備のイメージ図（令和８年９月常任委員会資料）



※朱書き / 朱塗りはプロポーザル時からの変更・検討項目

新温泉町「廻船問屋千原屋道盛邸」整備基本計画　第7回検討委員会時点の整備案　2026/09/01　1/200 (A3)　プログラム整理
カイト・ノゾエ・エヌエム設計共同体

一般質問

ズバリ!! 町政を問う



一般質問とは、議員個人が町長など執行機関に対して、町政全般についての質問や提言を行う場です。議会だよりでは、議員自らが質問・提言内容と結果の原稿を作成し掲載しています。

新温泉町ホームページで一般質問の動画を配信しています。各議員の二次元コードからは、議員ごとの動画が見られます。

※質問は通告受け付け順に掲載しています。
【掲載】は記事にした質問事項です。

14頁 **河越 忠志 議員**
- ●新温泉町の保育・教育環境【掲載】

14頁 **岡　明彦 議員**
- ●将来の教育
- ●産業振興【掲載】
- ●農業振興
- ●町民の健康寿命維持
- ●高齢者の通院・買い物弱者対策

15頁 **中村　茂 議員**
- ●町ぐるみで健康長寿社会を実現【掲載】
- ●リフレッシュパークゆむらの再生・発展
- ●視点を変えた部活動の地域移行

15頁 **森田 善幸 議員**
- ●町の災害時の対応【掲載】
- ●おんせん天国構想の現状と今後
- ●人口問題への対応

16頁 **松岡 佑子 議員**
- ●持続可能で安全な海水浴場運営に向けた「新温泉町海水浴場条例」の制定【掲載】

16頁 **中井 次郎 議員**
- ●ドクターヘリの運航と医療体制【掲載】
- ●地震に備える体制は
- ●観光地におけるトイレは誘客にも影響する

17頁 **谷口　功 議員**
- ●子ども・子育て支援金制度は適切か
- ●なぜ今、地方自治体と住民が共通した困難に直面しているか【掲載】

17頁 **田村 綱正 議員**
- ●水害対策【掲載】
- ●観光振興【掲載】

18頁 **寺谷 英一 議員**
- ●町道脇の倒木の危険性
- ●自殺対策室設置【掲載】
- ●中学校の部活動がなくなる問題【掲載】
- ●浜坂高校支援

18頁 **岡坂 遼太 議員**
- ●学校・教師の業務負担縮減と教育の質向上
- ●ユニバーサルな学習環境【掲載】
- ●地域資源の学びの機会【掲載】

19頁 **澤田 俊之 議員**
- ●危機管理
- ●町の知名度向上等【掲載】
- ●議会と町長との関係【掲載】

19頁 **浜田 直子 議員**
- ●デュアルスクール（短期留学）制度導入と入学準備金【掲載】
- ●男性の育児休暇取得率向上の対策【掲載】
- ●ロードミラー設置への対応と対策【掲載】
- ●公共施設の洗面室、トイレ環境の整備
- ●縁結び同窓会応援事業補助金【掲載】

一般質問



河越 忠志（かわごえ ただし） 議員

最善の教育環境には、選択肢の確保が重要だ

教育長 様々な意見の調整で、より良い方向を目指す

故・東井義雄（とういよしお）さんの「命の教育」の理念

質問 **一人ひとりの子どもを「奇跡の存在」として、生きる力を授ける教育に取り組んでこられたと思っている。この町の教育は、どうか。**

町長 東井さんの教育理念は、聞いたことがあるが、詳しいことは、教育長が答弁する。

教育長 東井義雄先生の教育理念からは、多くを学んだ。私が取り組む心の自立を目指す教育と一致していると思う。現在、少人数を生かしたきめ細かな指導、また、地域資源を活用したふるさと教育に全小・中学校で取り組んでいるが、少子化による集団教育規模や部活動の維持の困難さ、多様な支援要請への対応点など、様々な課題がある。

教育分野を含む、最善を尽くすとは

質問 **「最善を尽くす」の解釈はどうか。**

町長 単純に言えば、最善の努力をすること。

教育長 一番良いが基本だが、そこに至れるかは分からない。いろんな意見を取り上げながら、労を惜しまず、より良い考えをつくり上げるのが最善を尽くすことだと思う。



但東町の教育者、故・東井義雄さんの教育理念「命の教育」は今も息づいている



岡 明彦（おか あきひこ） 議員

浜坂温泉保養荘の今後の見通し

町長 県所有なので私が答えるのは難しい

閉館から半年たち浜坂温泉保養荘の今後は

質問 **町長は選挙中に、閉館後の利用について考えがあると言っていた記憶があるが現在の進捗状況はどうか。**

町長 浜坂温泉保養荘跡地売却にかかる公募型プロポーザルの実地で県のホームページに掲載された。

質問 **現在の建物はそのまま使えるか、改修しないとだめか。**

町長 あくまで県の所有している物件であり、町が内容についての答えは難しいと思っている。



再開待たれる浜坂温泉保養荘。
所有は県なので町は何もできないのか

出合の産廃業者進出、町長は賛成

質問 **地元では、営業してほしく無いとの意見が多いが、町長は来てくれればありがたいとの考えか。**

町長 観光地としてはイメージダウンになると考え、県と会社の社長にストップ出来ないかと要望してきた。

質問 **そのようなアプローチをしながら、おんせん天国の看板があるのはなぜか。**

町長 私の方からお願いして設置した。

中村（なかむら） 茂（しげる） 議員



県境を越えたスムーズな医療連携

町長 連携の背景は地域連携室の存在と長年の信頼の蓄積だ

町ぐるみで健康長寿社会を実現

質問 **病気治療の機会から、健康づくりの重要性を感じた。現在、かかりつけ医の紹介状で鳥取中央病院で診療を受けている。改めて、何でこんなスムーズにできるのか、この地域、新温泉町と鳥取市の関わりなのか、それとも、かかりつけ医と大病院のドクターとの関わりなのか、仕組みを知りたい。**

町長 病院間の地域連携室による緊密な連携と、長年培われた医師同士の信頼関係と実績の蓄積が背景にある。

がん検診に腫瘍マーカー検査を

質問 **診結果表を見ると腫瘍マーカー検査の項目がある。現行検診制度に合致するか不明だが検討されてはどうか。**

町長 検討する。



中央病院ロビーの「連係医療機関」に本町の医療機関等が紹介されている。県を越えた医療連携に感謝

森田（もりた） 善幸（よしゆき） 議員



避難所運営の課題と対応は

町長 エアコン整備、トイレカー導入等進めている

災害時の避難所運営

質問 **能登半島地震の津波警報や熊本地震を踏まえ、避難所運営の課題と対応策を問う。**

町長 津波警報時には一部避難所で開設の遅れや情報不足があり、トイレ、暑さ寒さ対策、プライバシー確保が課題となった。このため、避難所へのエアコン整備、トイレカーの導入、段ボールベッド約600床の備蓄を進めている。避難所備品は倉庫や田井公園などに保管し、各避難所にも最低限配備している。指定避難所ごとに担当職員を決め、発電機も配備している。外国人住民には多言語対応アプリやホームページ、LINEなどで情報提供し、「やさしい日本語」の放送導入を検討する。



今回の熊本地震に派遣され、好評だったトイレカー

ツキノワグマへの対応

質問 **先般行われた、緊急銃猟想定訓練の成果と課題を問う。**

町長 クマが中学校施設内に立てこもった想定で机上訓練と実地訓練を行った。緊急銃猟の実施には安全性や緊急性など４つの条件確認が必要で、警察や県、捕獲班などの連携の重要性を再確認した。現場状況の判断の難しさや、麻酔対応の専門業者が到着まで３時間程かかることが課題だ。

一般質問



松岡 佑子（まつおか ゆうこ） 議員

海水浴条例を制定すべきではないか

町長 海水浴場は県の管理下であり今後検討する

観光資源としての海水浴場の現状

質問 **本町の3つの海水浴場は年間約3万人が訪れる最大の観光資源であり、地域経済に大きな波及効果をもたらしているが、町長の認識はどうか。**

町長 海水浴客は減少傾向で、経済効果は減っているが、消費を増やす政策を取る必要がある。

安全管理の責任と町関与のあり方

質問 **海水浴場の安全管理や法的責任は増大しており、地域主体の現状は限界。町が主体的・責任ある立場で運営に関与すべきではないか。**

町長 地区からの要望は聞いていないが、今後は検討したい。

質問 **管理主体や安全基準、風紀ルールを明文化した、町独自の海水浴条例を制定すべき。**

町長 管理者が誰かが重要であり、県の土地での管理は申請した利用者が行うべきだ。他自治体の実態も確認しつつ検討したい。

質問 **自治体に海水浴条例がないことが最大のリスクではないか。**

町長 海水浴場は県の管理下である。町が責任を持って条例を制定するかどうかは、今後十分検討する必要がある。



夏季最大の観光資源「海水浴場」。持続可能な運営のためには条例制定が必要ではないか



中井 次郎（なかい じろう） 議員

ドクターヘリの安定的な運航と病院を守ることが大切だ

町長 「従来どおり運航」を強く要望したい

質問 **ドクターヘリが整備士の不足により、運航が困難との声が聞こえてきた。その原因と今後の見通しを尋ねたい。ドクターヘリは救命救急の補完の仕組みとして構築されるべきものであります。しかし、地域医療構想による病院統廃合、病床削減などにより、医療救急体制が脆弱になる中で、代替としてのドクターヘリの運用が拡大されてきた。この兵庫県、とりわけ但馬地域の公立病院を再編した公立豊岡病院を拠点とするドクターヘリは、1日3回から4回、年間では1,500回を超える運航となる年もあるなど、救急搬送の相当な部分をドクターヘリがカバーしている。7月の2機の運休はこの但馬の皆さんの命に関わる問題だと考える。町長の見解を尋ねたい。**

町長 但馬全体の要望として、知事を通して「従来どおり運航」を強く要望したい。



ドクターヘリは新温泉町にとって命綱です

谷口（たにぐち） 功（いさお） 議員



国保税条例改正案は憲法に反するのではないか

町長 国会で決まったこと、粛々と実施する

質問 **国保制度の目的は「被保険者の疾病、負傷、出産、又は死亡に関して必要な保険給付を行うものとする」と国民健康保険法は規定している。医療保険の徴収ルートを使って支援金を集めて子ども子育て支援に回すのは国保制度から逸脱するのではないか。**

町長 我々の立場で判断を下すのは難しい。

質問 **憲法 13 条は、全て国民は個人として尊重される、及び幸福追求の権利の尊重を規定している。この 13 条の核心に照らしてみても、子ども・子育て支援金制度は憲法 13 条に反すると考える。また、憲法 25 条が保障する健康で文化的な最低限度の生活において、医療を受ける権利はその中核的な構成要素であり高齢者に特に重い負担を課す、つまり子育て支援に限定をして負担を転嫁するのは、憲法 25 条に抵触するのではないか。**

町長 この制度のあり方には疑問点はあるが明言しない。

質問 **憲法 99 条はすべての公務員に憲法順守義務を規定、問題の告発義務があるはず。**

町長 なるほどという面はかなりある。

田村（たむら） 綱正（つなまさ） 議員



城山は枯木が目立ち景観を損なう箇所が多い

町長 頂上まで桜並木をつくるということも考える

城山園地のロケーションを活かす必要がある

質問 **３月の一般質問後、城山園地にあった危険な東屋を早急に撤去された対応に、町長の観光振興に対する取組姿勢と意気込みを強く感じたがどうか。**

町長 ６月に町民安全課の職員を派遣して、城山園地のごみを軽トラ３杯分ぐらい撤去した。

質問 **城山園地は枯木が目立ち景観を損なう箇所が多くあるが整備が必要ではないか。**

町長 頂上まで桜並木をつくるということも必要かと思う。城山の樹木のあり方を考える。



トラロープで囲われ倒壊の恐れがあった危険な東屋は早急に撤去された

全国で頻発する豪雨災害・本町の対策は

質問 **岸田川、久斗川等が氾濫すれば甚大な被害が想定されるが、本町における河川の維持管理や水害対策はどうか。**

町長 左右の両岸合わせて 48 キロの点検を毎年、定期的にしている。点検前には必ず除草し、措置が必要と判断した場合は護岸の修繕工事、堆積土砂撤去、付随した施設の点検、補強、修理を行っている。

質問 **岸田川も前回の豪雨災害から年月が経ち、当時被害のあった箇所に大木が育っている。改善が必要ではないか。**

町長 県土木とも連携を取り、時代の変化に合った河川整備、水害対策を行っていく。

一般質問



寺谷 英一（てらたに えいいち） 議員

部活問題で「地域クラブ」を認定せよ

教育長▼できるだけ早くロードマップを示す

中学校の部活がなくなる問題

質問 **中学校の部活がなくなる問題だが、「新温泉町部活動説明資料」には基本方針しか書いていなく、具体的なことは何も書かれていない。学校の部活動を、地域のクラブに段階的に移行し、令和13年までに完全移行との国の方針がある。令和8年度から改革実行期間となっている。町の方針決定が遅すぎないか。**

教育長 令和7年度に「新温泉町クラブ活動協議会」を立ち上げており、そこがこの運営主体に当たることになっている。そして「地域クラブ」として認定していく。できるだけ早く対応するが、まだロードマップ（方針）は示せていない。



中学の部活がなくなる問題

自殺対策室の設置について

質問 **国が、町がよりよい社会をつくろうとしていると思う。合併前の温泉地域で自殺率が兵庫県下で一番高かったことがある。「町の保健室」ともいわれるような自殺対策室を絶対に作るべき。**

教育長 一時的に、県下でワーストだったことはあるが、今は県の平均より良い。特に対策室という必要性は感じていない。啓発活動をシッカリやっていく。



岡坂 遼太（おかさか りょうた） 議員

ユニバーサルな環境の整備を目指すべき

教育長▼支援の要らない子は誰もいない

質問 **次期学習指導要領では「重層的な指導・支援」として、通常級含む全児童へのユニバーサルな環境の整備を目指している。どう取り組んでいくか。**

教育長 支援の要らない子は誰もいないという考えが私の根底にある。学校任せにはできないため、調整・協議体制は教育委員会でしていかなければならない。

質問 **早期支援・適切な支援につながりやすくするために、全児童への定期的なスクリーニングを行うことはできないか。**

教育長 すでに全児童に年1、2回のスクリーニングを実施し、それに基づき評価を行っている。今年度は浜坂認定こども園の5歳児も実施している。

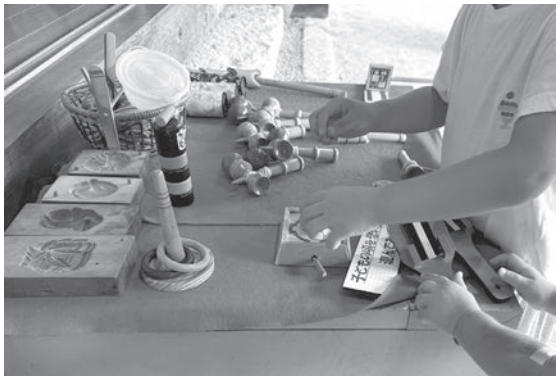
生きた教材となる地域資源

質問 **本町に多くある展示・教育施設は、連携と回遊性を高めるべきではないか。**

生涯教育課長 所管課の違いによる課題がある。改善していきたい。

質問 **地域文化の公開とマッチングを支援すべきではないか。**

生涯教育課長 充実していきたい。地域住民と地域外の人々が交流するためのマッチング支援に努める。



以命亭。各施設で遊び場を拡充してほしい。遊びが学びにつながり、地元への誇りを育む

※スクリーニング：授業の全体的な様子を見ながら早期に具体的な支援策を見つけること。

澤田（さわだ） 俊之（としゆき） 議員



町の知名度アップのための中長期な展望は

町長 選挙公約のドーム建設

町の知名度向上

質問 **人口減少対策、交通網の再整備、地場産業や観光の振興など数多くの問題に丸９年取り組んできているが、成果が見えてこない。自慢できる成果は何か。**

町長 町名にふさわしい町づくりを行っている。

質問 **入湯税やふるさと納税が減少している。中長期的な展望に立った政策展開、知名度アップが必要ではないか。**

町長 選挙公約のドームを建設し、浜坂高校、ヴィッセル神戸と組み合わせ、新たな活性化の方向性を打ち出していく。

議会と町長との関係

質問 **議会、委員会の役割は何か。**

町長 議員は町民の代表で、議会は町の方向性を決定する大切な議決機関である。

質問 **議会は、いろいろな事案が起きた場合、これを正していく非常に責任のある組織である。議会と当局がより信頼のある関係性を築くための、しっかりと議論できる環境が必要ではないか。**

町長 旧温泉町では、百条委員会が開かれたことがある。普段からの情報共有、十分な情報提供を通して、ともにまちづくりを考えていける関係で行っていきたい。



健康公園のすこやかドーム。
利用実態などの検証が必要

浜田（はまだ） 直子（なおこ） 議員



学校園数減は人口増の努力し尽してからでは

町長 住宅政策、道路開通など可能性を秘めている

区域外就学制度で町外からの受け入れを

質問 **現状の子育て環境の良さ、手厚さを活かし人口を増やす努力をすべき。住宅地の整備などは。**

町長 住宅政策に力を入れている。

質問 **短期留学を受け入れては。**

教育長 環境の良さを知ってもらえるが、履修、未履修、手続などの懸念もある。検討する。

質問 **小学、中学の入学準備が必要。お祝い金を考えては。**

町長 相談する。

男性の育児休暇取得率向上

質問 **育児に協力は必要だ。民間の男性の取得率の対策は。**

町長 より多くの事業所が、補助事業を利用するよう期待する。

質問 **制度内容、体験談など発信しては。**

町長 引き続き取り組む。

カーブミラーの対策

質問 **町内一元して区長、役員など民間も含めた協議会にすれば官民協力し合えるのでは。**

町長 現在、町民安全課などの交通対策委員会で行っている。



暮らしと安心を守るためのカーブミラー。適切な早期設置を

縁結び同窓会応援事業

質問 **条件の人数、年齢制限など利用しやすくしては。**

町長 令和８年度より始めた事業であり様子を見ながら検討する。

発行：新温泉町議会　編集：議会広報調査特別委員会
〒669-6792 兵庫県美方郡新温泉町浜坂 2673-1 TEL 0796-82-5628

みんなの広場

学んで、話して、地域で動く。

O-range（オーレンジ）　代表 河村（かわむら） 航希（こうき）

@O_RANGE0314

活動内容は？

誰でも参加できる「Win-Win ゼミ」を毎週開き、仕事や暮らしの中での学びを持ち寄って、AI やアプリ開発などの最新技術、地域、日本や世界、歴史など、幅広い話題を語り合っています。お祭りやイベントへの出展のほか、メンバーが行政などの委員や役割を務めるなど、まちづくりにも関わっています。



2026 年 8 月に開催された諸寄盆踊り祭りにて、自作のゲームブースを出展させていただきました。

きっかけ・いつから？

2024 年 2 月、都会から地元に帰ってきた友人の「子どもたちのために何かしたい」という思いを形にしようと始めました。以来、メンバーそれぞれの「やってみたい」を実現する場として活動しています。

メンバーは？

地元に残った人・帰ってきた人を中心とした 20 代の仲間です。メインメンバー（河村航希、村尾勇真、谷口裕樹、倉永将宏、田熊杏菜、加藤優翔）のほか、イベント出店や企画の手伝いなど、さまざまな形で支えてくれる協力者も多数います。

会のセールスポイントは？

決まった目的に向かうのではなく、ゆるく集まって、それぞれの「やってみたい」を持ち寄れること。Win-Win ゼミには地元の社会人や経営者の方が参加することもあり、世代を超えて人とつながるきっかけや、新しい活動・事業が生まれる場になっています。

今後の抱負は？

やってみたいことがある人が気軽に立ち寄れるコミュニティとして、活動を続け、いろいろな人との関わりを少しずつ広げていきたいです。

皆さんにお願いしたいこと

やりたいことや相談があれば、Instagram（@o_range0314）から気軽にご連絡を。まずはゼミ（主に毎週水曜日、役場隣の多目的集会施設 1 階ロビー）への参加も大歓迎です。

編集後記

9月は定例会・常任委員会・決算特別委員会が開会され、多くの事業について活発な質疑や提案が行われました。今議会での議論や意見が、次年度の予算編成へと的確に反映され、より良い町づくりに活かされることを切に願っています。

皆様の声が届く議会を目指し、これからも取り組みを進めてまいります。

【松岡佑子】

発行：新温泉町議会　議長／池田宜広

編集：議会広報調査特別委員会
委 員 長／岡坂遼太
副委員長／田村綱正
委　　員／寺谷英一・松岡佑子
　　岡　明彦・浜田直子

次回定例会は12月です。傍聴にお越しください。

UD FONT この印刷物は、ユニバーサルデザイン（UD）の考え方に基づき、見やすいフォントや色使いに配慮して作成しています。